

事業概要

名称： 石山六区森林保全の会(任意団体)

目的： 地区住民私有の山林における森林整備活動により

- ・駆除等による野生動物の殺傷を抑制する
- ・農地や家庭菜園における食害を抑制する
- ・宅地近辺における野生動物の出没を抑制する
- ・高木による農地日照障害を回復する

内容： 農地や宅地に隣接する山林において

- ・畑や宅地と山林の中間部分を笹刈等により見通しをよくする
- ・山の際にある白樺やナラなどの自然木を間伐し陽当たりをよくする
- ・伐採適期に達するカラマツ等の人工林を伐採し自然更新を促進する
- ・山林内に山道を設け定期的に人が通るようにする

沿革： 2020年 初年度事業実施(所有者2名計約3ha)

林野庁「森林・山村多面的機能発揮対策交付金事業(北海道)」として

2021年 同上の内容で2年度目実施

2022年 コロナ禍により活動休止

2023年 猛暑により活動休止

予定： 2024年 前対象地の北側部分となる森林約2ha(所有者3名)を拡張

収支： ・切り出した原木を薪や楢木として販売し必要となる燃料や機材の購入、及び修繕費など必要経費の一部に充当する
・森林整備を対象とした補助金等を活用する

会員： 個人 対象地所有者5名の他、六区住民2名、地区外6名の個人計13名

法人 (株)ふるさとファーム、NPOドサンコ・オルグの2法人

代表 会員の代表はNPOドサンコ・オルグ代表の三原孝義とする

他： ・事務局は札幌市南区石山637番地6のNPOドサンコ・オルグに置く
・整備の担い手となる人材を地区外よりも広く受け入れる
・NPOドサンコ・オルグによる担い手育成事業と連携し、実効力ある規模で通年の活動が可能となることを目指す
・地元の子供たちが気軽に遊びに来ることができる森林づくりを目指す
・札幌市における森林整備が若者の仕事として確立することを目指す
・札幌市内その他地区へ波及する“地域活動”となることを目指す
・くくり罠による野生動物の捕獲(駆除事業)を廃止することを目指す